

2014.7.9 人文社会総論

東北大学文学部

日本語教育学

田中重人

<http://tsigeto.info/1st/>

【レポート課題】

- (1) (日本語学習者に)
日本語の特徴と困難点
- (2) (外国生活経験者に)
困難と対処

インタビューをまとめる

【日本語教育学研究室の紹介】

日本語教育学

- ・ 才田いずみ 教授
- ・ 名嶋義直 教授

現代日本論

- ・ 田中重人 准教授

【教育目標】

実践的教育力

- ・ コースデザインから教室運営まで
- ・ 実習
- ・ インターンシップ

科学的研究力

- ・ 調査・実験
- ・ 論理的思考とコミュニケーション

【日本語の理解】

産前産後の看病

さんぜんさんごのかんびょう

→ 「ん」の発音のちがい

〇〇 が △△ に ×× をあげた

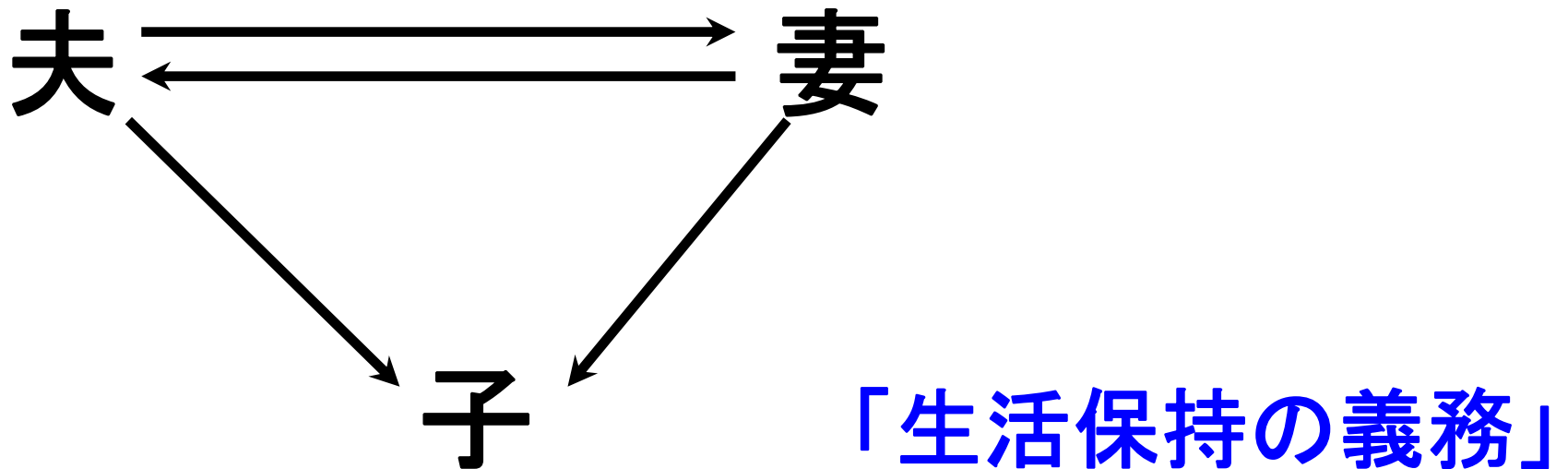
〇〇 が △△ に ×× をくれた

→どちらがう？

【田中の研究課題】

分権的な資源分配システムの下での不平等

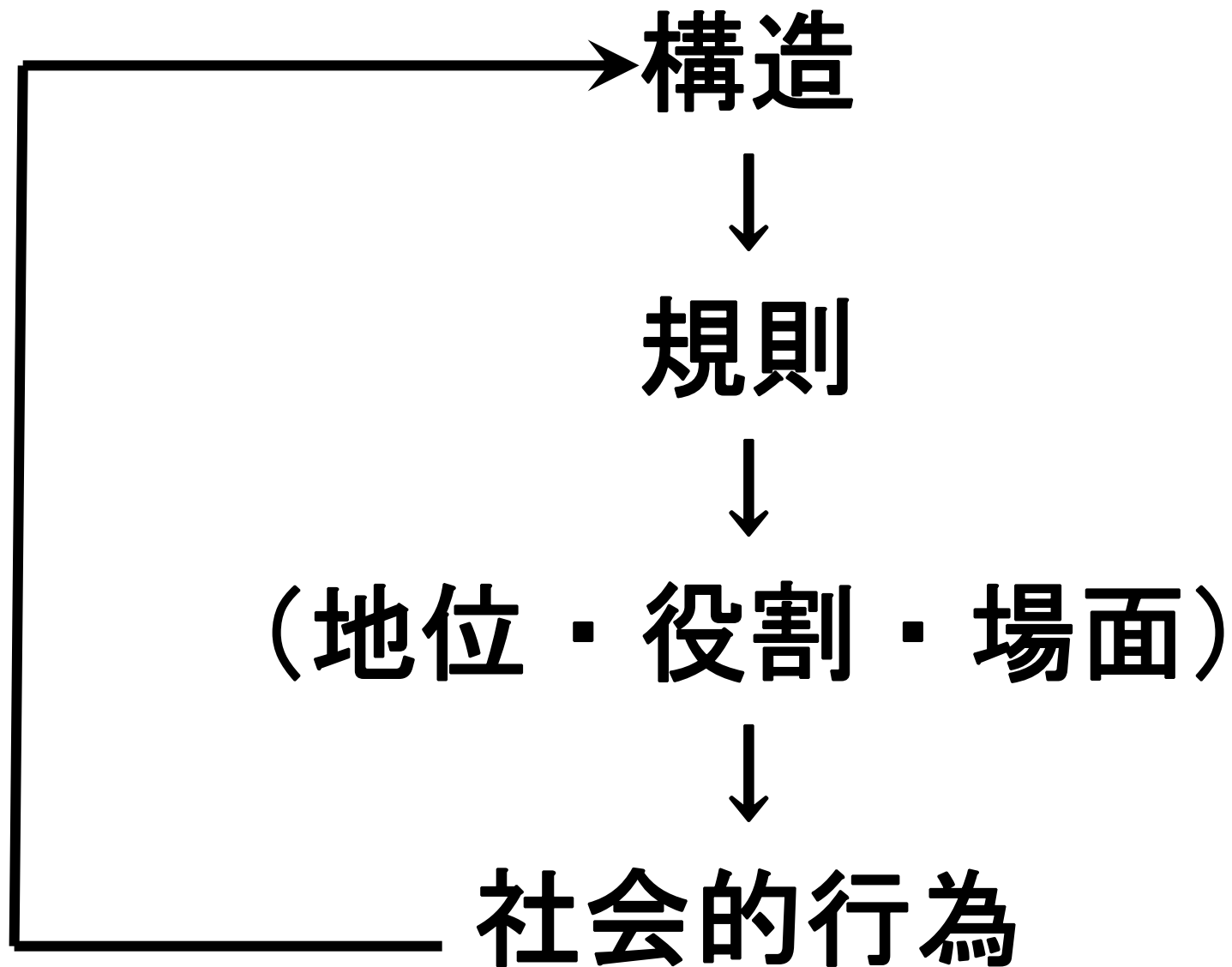
- ・ 家族制度と性別格差



知っている



説明できる



【言語状況と人の移動】

【日本の言語状況】

- 公用語は？
- 日本語使用者（1億以上）のほとんどは
日本居住の **native speaker**
- 少数言語および方言
- 移民の状況
- 「日本」の経済的・文化的プレゼンス

【少数言語】

- 先住民
- 植民地からの移民とその子孫
- 戦後の移民とその子孫

【日本の移民政策】

- (1) 植民地主義 (—1945)
- (2) 占領期 (—1951)
- (3) 高度経済成長期 (1950-70 年代)
- (4) 平等と国際化 (1980 年代)
- (5) 定住と共生 (1990 入管法改正)
- (6) 多文化共生 (2006—)

(近藤, 2010)

【現在の在留資格】

- (1) 「永住者」「定住者」「特別永住者」
- (2) 専門技能職
- (3) 「短期滞在」「留学」「研修」など

【国籍】

(1) 「血統主義」「出生地主義」

(2) そもそも「国籍」とは？

(3) その機能は？

【現在の状況】

- (1) 法の globalization
- (2) 経済の globalization
- (3) 人口減少 (→補充移民)
- (4) 経済危機への対処
- (5) 1990 年改革の事後的検証？

【日本語教育学の役割】

- ・「共通語」としての日本語
- ・異文化理解とコミュニケーション
- ・ホスト社会の変化
- ・「最前線」としての日本語教室／教師
- ・社会を理解する／変革する